

8/19
(水)

長島イングリッシュデイズ 生きた英語を体感

長島イングリッシュデイズが8月19日、町文化ホールで行われ町内の小中学生24人が外国語指導助手(ALT) 2人と交流を通して英語や異文化に親しみました。

子どもたちは英語での自己紹介や外国の文化に関するクイズなどに挑戦したほか、ALTとのフリートークでは、アニメの話題などで徐々に打ち解け合い、生きた英語を体感しました。

蔵之元小6年生の田邊幸之助君は「英語でうまく自己紹介ができた」と満足そうな様子でした。



ALTとのやりとりを楽しむ児童

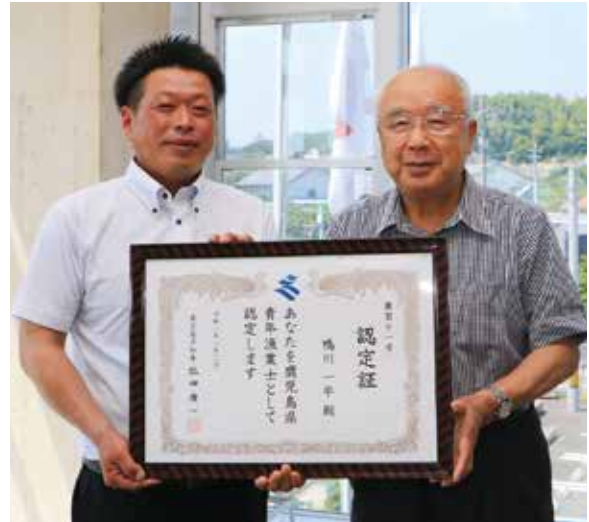
8/21
(金)

鴨川一平さんが青年漁業士に認定 水産業での地域貢献に期待

地域で意欲的に漁業に取り組み、中核的漁業者として県が認定する青年漁業士に東町漁協の鴨川一平さん(伊唐)が認定されました。

鴨川さんは本町外海でのブリ養殖技術を確立した成果が認められ、令和元年度全国青年・女性漁業者交流大会で農林水産大臣賞を受賞するなど本町の水産業に貢献されてきました。

8月21日、川添町長に認定報告した鴨川さんは「青年漁業士としての名に恥じぬよう精進し、今後も長島に貢献したい」と抱負を述べました。



青年漁業士としての活躍を誓った鴨川さん

8/21
(金)

伊唐小でそうめん流し 涼呼びふれあい満喫

伊唐小学校(山口陽校長)では、8月21日、自作した竹の箸やおわんを使ったそうめん流しが行われ、児童11人は次々と流されるそうめんをすくい、舌鼓を打ちました。

同校の夏休みの恒例行事で、児童らは地元老人会の会員に教わりながらのこぎりを使って竹を切断するなど準備に汗を流しました。校内に設置された竹といから流される冷たい水とそうめんを涼を取り、会員とのふれあいを楽しみました。

6年生の小山愛翔君は「竹を切るのは難しかっ

たけど、手作りの箸とおわんで食べるそうめんはおいしい」と満足げでした。



手作りの箸でそうめんをすくう児童